

## 市内地域公共交通に関する検討調査

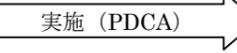
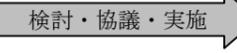
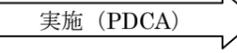
### 施策推進に向けた対応方針の検討

### 市内循環バス見直し運行計画の策定(1)

# 1. 施策の推進に向けた対応方針

- 前回の地域公共交通会議で提示したバス交通施策と課題を踏まえ、今後実施していく施策と実施しない施策の仕分け、各施策に対する対応方針、ならびに各施策の実施スケジュールについて以下に整理する。

バス交通施策の方向性	考えられる施策 (□実施、■実施しない)	対応方針	実施スケジュール	
			短期 (概ね3年以内)	中長期 (概ね3年以上)
(1) 循環バス(上北台・玉川上水ルート)や路線バスの乗継によるアクセス確保	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>通勤通学時での乗換は抵抗が大きいため、基本的には乗り換えることなくいずれかの駅にアクセスできることを目指す。⇒現状で到達</li> </ul>		
	□市役所とイオンモールの乗り継ぎ拠点機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオンモールは、待ち時間の情報提供等のソフト対策を中心に展開していく。</li> <li>市役所は用地確保等の課題があるため、当面は庁舎内又は周辺施設での待合い空間の確保などの実現を目指す。</li> </ul>	検討・協議 →	可能な施策は順次実施 →
	□市役所とイオンモール以外の商業施設や公共施設等と連携した乗り継ぎポイントの快適性・利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内循環バスの再編によって、複数系統が乗り入れる学園、総合体育館等においては、待合い環境の整備を図る。</li> </ul>	検討・協議 →	可能な施策は順次実施 →
(2) イオンモールでの立川駅行きバスとの接続や急行バスの導入により、立川駅へのアクセス性を向上	□イオンモールでの立川駅行きバスとの接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>立川駅行きの路線バス(西武・立川バス)の等間隔ダイヤ化などによって利便性・速達性の向上を目指す。</li> </ul>	検討・協議 →	可能な施策は順次実施 →
	■急行バスの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>急行バスの導入による効果が期待できない(導入可能な道路環境が限定的)ことから実施しない。</li> <li>周辺市とも連携しながらマイカー利用の抑制等によって道路混雑の緩和を図る。</li> </ul>		
(3) 武蔵砂川駅周辺の交通基盤整備に合わせたバスの乗り入れ	□所沢武蔵村山立川線を走行する路線バスの武蔵砂川駅への乗り入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>中長期的な施策として、立川市と連携しながら実現化を目指していく。</li> </ul>	検討・協議 →	可能な施策は順次実施 →
(4) 西武立川駅への乗り入れにより、鉄道駅へのアクセス利便性の向上	□西武立川駅南口への乗り入れにより、鉄道駅へのアクセス利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>中長期的な施策として、立川市と連携しながら実現化を目指していく。</li> </ul>	検討・協議 →	可能な施策は順次実施 →
(5) 中藤地区から上北台駅へのアクセス確保	■梅70(都営)、立37(西武)の上北台駅への乗り入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存バスの利便性が大きく低下することから実施しない。</li> </ul>		
	■市内循環バス・上北台ルートの一部変更			
	■梅70(都営)、立37(西武)と「ちょこバス」(東大和市コミュニティバス)の乗換利用を促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ちょこバスの運行本数が少なく利便性が低いため実施しない。</li> </ul>		
	□乗合タクシー等の新たな地域交通の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内循環バスの再編を踏まえた上で、残された交通不便地域の解消を図るために、乗合タクシー等を導入するとした場合の一つの候補地として検討。</li> </ul>	検討・協議・実験 →	実施(PDCA) →
(6) 市内循環バスの再編【上北台ルート】	□終発の繰り下げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要に応じたメリハリのある運行形態に変更する。</li> </ul>		
	□休日・通勤時など利用者が少ない時間帯や区間の縮小 □モノレールとの乗継ダイヤ調整 □等間隔ダイヤ等による分かりやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的には大幅なルート変更は行わないが、日中時においては玉川上水ルートとの乗り継ぎポイント(学園)を確保するため、一部変更する。</li> </ul>	検討・協議・実施 →	実施(PDCA) →

バス交通施策の方向性	考えられる施策 (□実施、■実施しない)	対応方針	実施スケジュール	
			短期 (概ね3年以内)	中長期 (概ね3年以上)
(7) 市内循環バスの再編【玉川上水ルート】	<input type="checkbox"/> 運行本数の増便 <input type="checkbox"/> 休日・通勤時のダイヤの見直し <input type="checkbox"/> 循環ルートの見直し <input type="checkbox"/> 等間隔ダイヤ等による分かりやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 需要に応じたメリハリのある運行形態に変更する。</li> <li>☞ 循環ルートは廃止し、分かりやすいルートに再編する。</li> <li>☞ 武蔵砂川ルート・西循環ルートの再編に併せて、運行本数の増便を図る。</li> </ul>		
(8) 市内循環バスの再編【武蔵砂川ルート・西循環ルート】	<input type="checkbox"/> ルート再編 <input type="checkbox"/> 需要に合わせた運行形態の検討 (車両、システム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 通勤時は中原、残堀、三ツ藤の人口が多い地区と武蔵砂川駅を結び、駅までの速達性を重視した路線に再編する。</li> <li>☞ 日中は、中原～残堀～三ツ藤・伊奈平～イオンモールを結び、イオンモールでの各路線に乗り継ぐことでアクセス性を確保する。さらに、イオンモールからは玉川上水ルートに乗り入れ、玉川上水ルートの運行本数増の役割を担う。</li> </ul>		

## 2. 市内循環バスのルート見直し

### (1) ルート設定の考え方

- ➡ 前回の地域公共交通会議で提示した市内循環バスの再編イメージ（案）に基づき、以下の事項に留意しながらルート変更案を策定する。

#### ①通勤時と日中時で利用ニーズに即した運行ルートとする

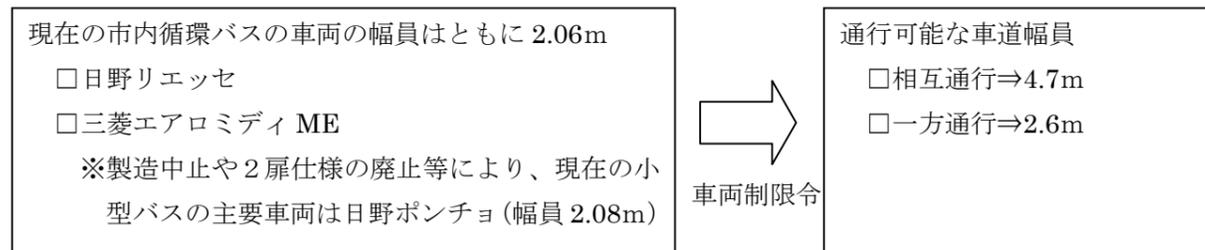
- ↳ 鉄軌道駅が無い本市においては、通勤時においては近隣の駅になるべく早くアクセスできることが重要である。
- ↳ 一方、日中時には買い物や通院、レジャー等の生活の足としての機能が重要であり、これらの施設に立ち寄るルートとすることが重要である。
- ↳ また、日中時においてはバスを乗り継ぐことによって、市内の主要施設にアクセスできるように、複数箇所での乗り継ぎポイントを構築する。

#### ②既存バスルートとの競合を避ける

- ↳ 市内循環バスは一般路線バスを補完する役割であることの基本原則に則り、一般路線バスと競合しないルート設定となるように留意する。

#### ③車両制限令に抵触しない幅員が確保されている道路を走行する

- ↳ 安全な運行を確保するために、車両制限令に抵触しない幅員が確保されている道路であるとともに、可能な限り歩車分離が図られている道路を走行するものとする。



【参考】車両制限令において日野リエッセ・三菱エアロミディ ME (車両幅 2.06m⇒2.1m) の走行できる道路幅員

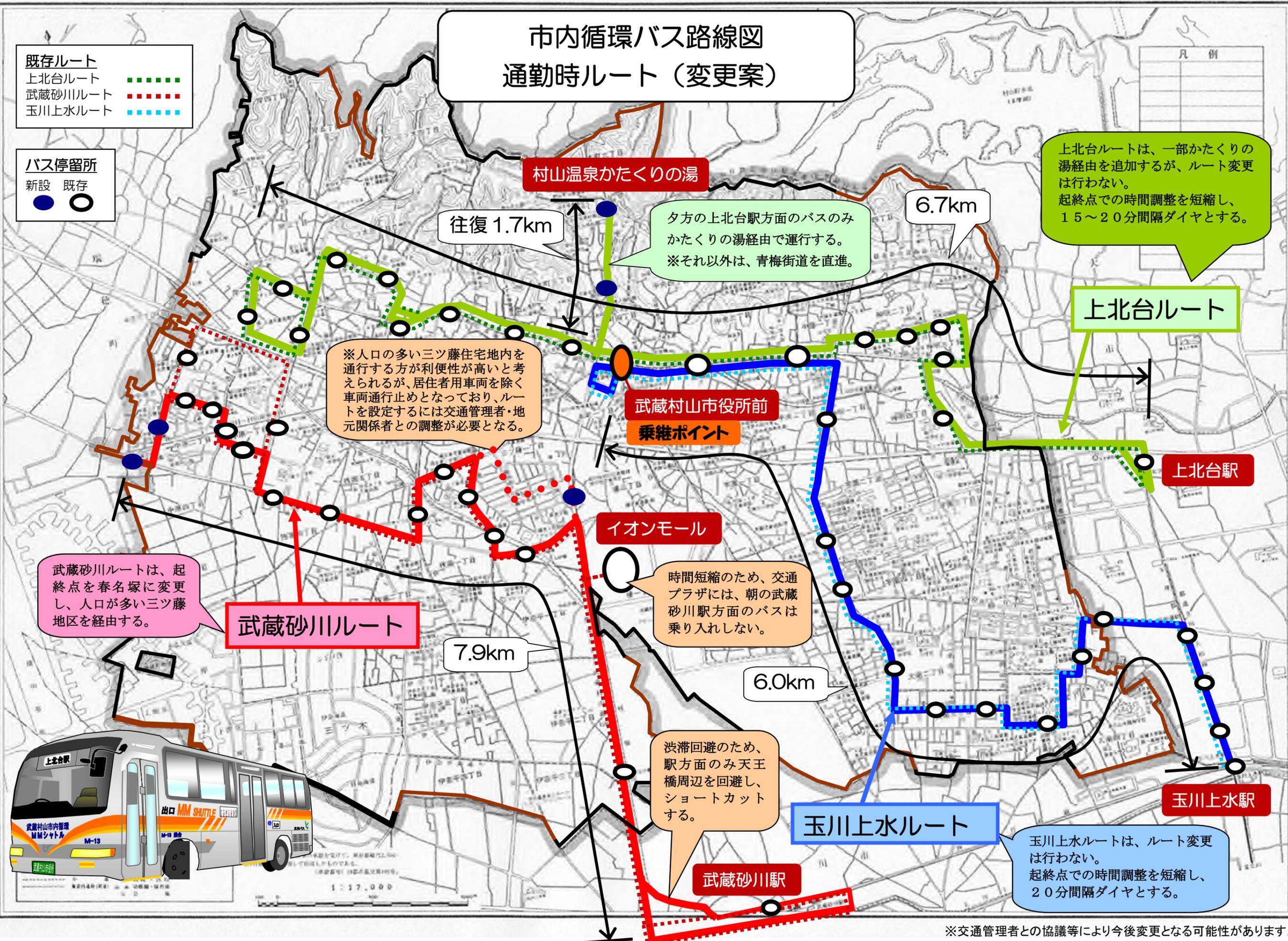
道路の区分		通行しうる車両の幅	2.1mの幅の車両が通行しうる	
			最低車道幅員	最低道路総幅
一般市街地道路	通常の道路	車道の幅員-0.5m 2 をこえないもの	4.7m	5.7m
	交通極小指定道路又は一方通行道路	車道の幅員-0.5m をこえないもの	2.6m	3.6m
駅前・繁華街道路	通常の道路	車道の幅員-1.5m 2 をこえないもの	5.7m	6.7m
	交通極小指定道路又は一方通行道路	車道の幅員-1.0m をこえないもの	3.1m	4.1m

# 市内循環バス路線図 通勤時ルート（変更案）

- 既存ルート**
- 上北台ルート ●●●●
  - 武蔵砂川ルート ●●●●
  - 玉川上水ルート ●●●●

- バス停留所**
- 新設 ●
  - 既存 ○

凡例

上北台ルートは、一部かたくりの湯経由を追加するが、ルート変更は行わない。  
起終点での時間調整を短縮し、15～20分間隔ダイヤとする。

夕方の上北台駅方面のバスのみかたくりの湯経由で運行する。  
※それ以外は、青梅街道を直進。

※人口の多い三ツ藤住宅地内を通行の方が利便性が高いと考えられるが、居住者用車両を除く車両通行止めとなっており、ルートを設定するには交通管理者・地元関係者との調整が必要となる。

武蔵砂川ルートは、起終点を春名塚に変更し、人口が多い三ツ藤地区を経由する。

時間短縮のため、交通プラザには、朝の武蔵砂川駅方面のバスは乗り入れしない。

渋滞回避のため、駅方面のみ天王橋周辺を回避し、ショートカットする。

玉川上水ルートは、ルート変更は行わない。  
起終点での時間調整を短縮し、20分間隔ダイヤとする。



※交通管理者との協議等により今後変更となる可能性があります。

# 市内循環バス路線図 日中時ルート（変更案）

- 既存ルート**
- 西循環ルート
  - 上北台ルート
  - 武蔵砂川ルート
  - 玉川上水ルート

- バス停留所**
- 新設 既存
- -

バス停間が長いので、ニーズ等を勘案し、必要に応じてバス停を新設する。

※人口の多い三ツ藤住宅地内を通行の方が利便性が高いと考えられるが、居住者用車両を除く車両通行止めとなっており、ルートを設定するには交通管理者・地元関係者との調整が必要となる。

## 東西横断ルート（仮称）

・武蔵砂川ルートと西循環ルートを廃止し、市西部～イオンモール、武蔵村山病院・村山医療センター～玉川上水駅を往復する東西横断ルート（仮称）を新設する。  
⇒要望が多かった市西部から武蔵村山病院及び村山医療センターへのアクセスや市東部から総合体育館へのアクセスが乗り継ぎなしで可能に  
⇒利用の多い玉川上水ルートの一部区間の増便も可能に  
・イオンモール以西においては、三ツ藤経由と伊奈平経由を設定する。  
※ルート延長が長いので、ダイヤの組み方が課題となる。

伊奈平地域は、ニーズ等を勘案し、必要に応じてバス停を新設する。

・新街道バス停は利用が少なく、大回りとなるためルートを変更し、武蔵村山病院のバス停位置を病院北側に変更する。  
※病院北側の道路はバス停整備（ガードレール、植栽の撤去等）が必要となる

・上北台ルートは、第三中学と上北台駅間のルートを変更する。  
⇒学園東部及び村山団地中央部から上北台駅や市役所、総合体育館等へのアクセスが向上  
⇒上北台ルートから、学園バス停を利用して市民総合センターへのアクセスが可能に  
・かたくりの湯以西は利用が少ないため、一部バスをかたくりの湯で折り返し、利用の多い東側区間の本数を増やす。

村山団地内を通るルートとし、バス停を1～2箇所新設する。

・玉川上水ルートは、利便性の低かった循環ルート部分を廃止し、かたくりの湯を起終点として、往復同ルート運行に変更する。



1:17,000

※交通管理者との協議等により今後変更となる可能性があります。

(3) 他路線との競合と道路幅員

■通勤時ルート

①②断面共通



③断面

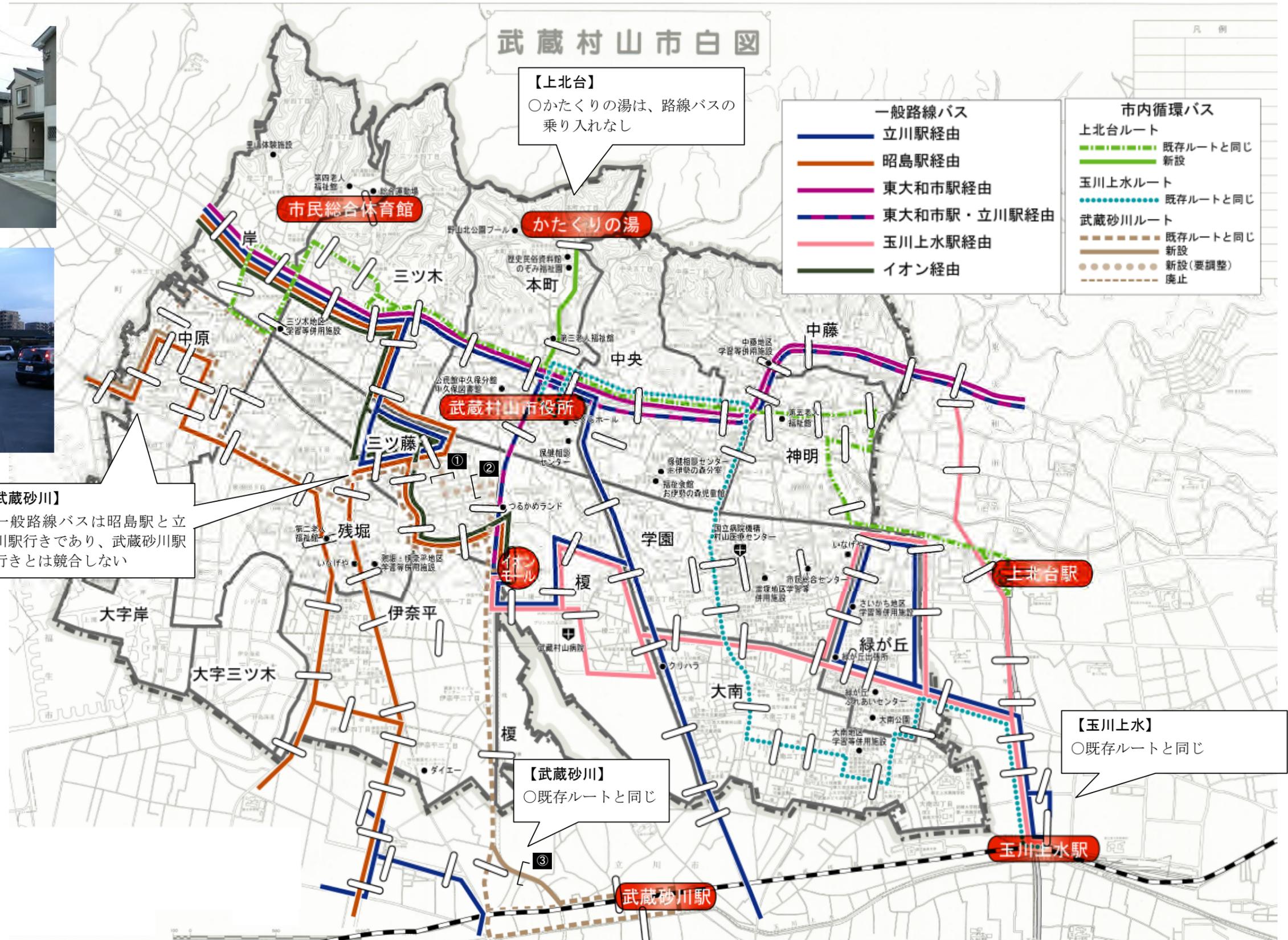


【武蔵砂川】  
○一般路線バスは昭島駅と立川駅行きであり、武蔵砂川駅行きとは競合しない

【上北台】  
○かたくりの湯は、路線バスの乗り入れなし

【武蔵砂川】  
○既存ルートと同じ

【玉川上水】  
○既存ルートと同じ



■日中時ルート

①②断面共通



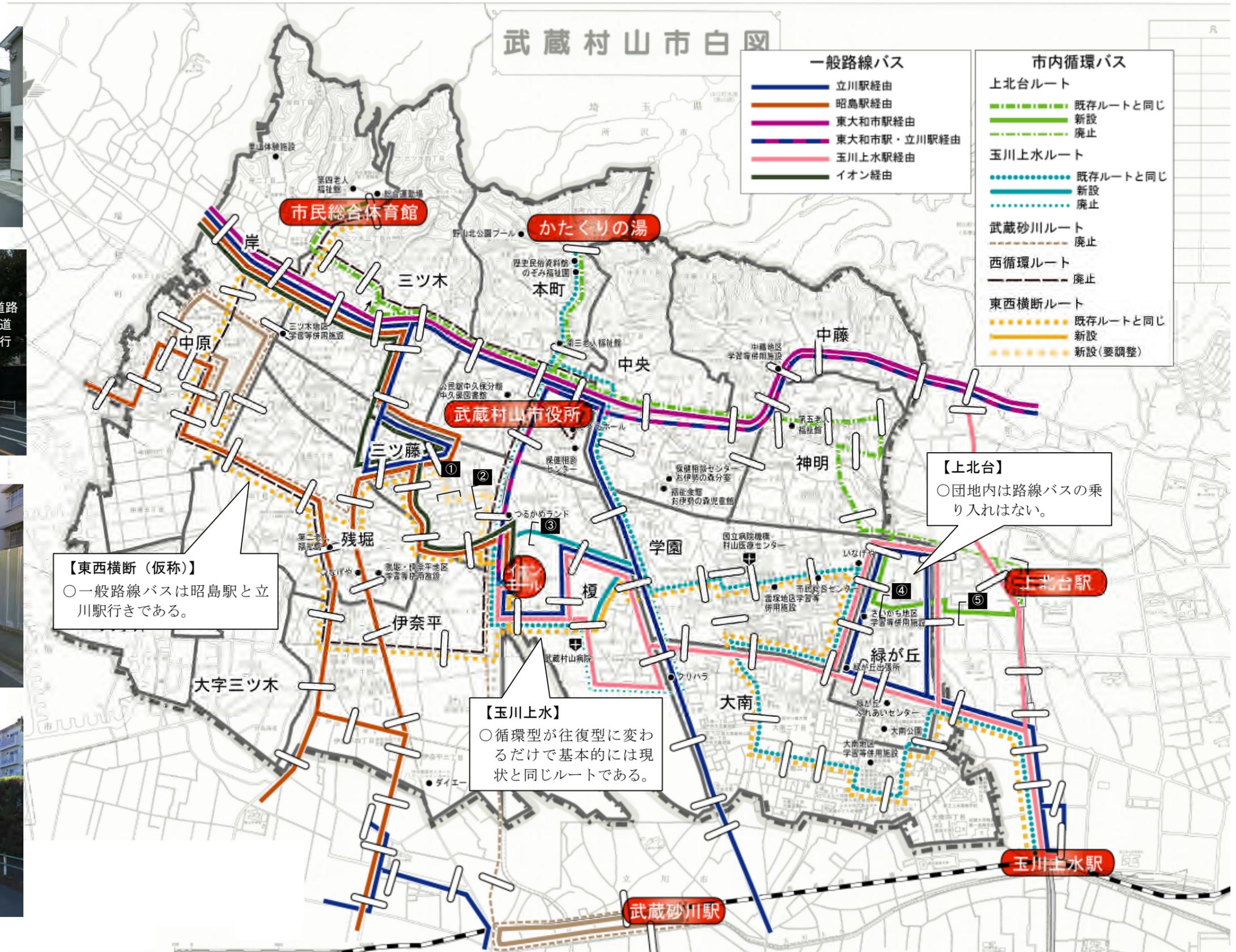
③断面



④断面



⑤断面



(3) 市内循環バス再編後の残された課題

■通勤時

- 三ツ藤三丁目・残堀五丁目では、再編前に比べて交通不便地域が若干広がる可能性がある。
- 本町三～五丁目では、再編前に比べて夕方時間帯で交通不便地域が減少する。

再編前に比べて、バスサービスが大きく低下することはない。

ルート変更に伴うバス停の廃止により、交通不便地域が若干広がる可能性がある

夕方時間帯において不便地域が減少する

武蔵砂川ルート

上北台ルート

玉川上水ルート

通勤時		
新ルートバス停留所	●	
既存ルートバス停留所	○	
廃止の可能性がある停留所	○	
不便地域	既存ルート	
	上北台ルート	●●●●
	玉川上水ルート	●●●●
	武蔵砂川ルート	●●●●



■日中時

- 三ツ藤三丁目・残堀五丁目では、再編前に比べて交通不便地域が若干広がる可能性がある。
- 伊奈平二～三丁目・榎一丁目では、再編前に比べて交通不便地域が広がる可能性があるが、人口は相対的に少ない地域である。
- 中央一丁目・神明一丁目にかけての広い交通不便地域は解消されない。

中藤～上北台駅アクセスを含め、乗合タクシーなどの導入について検討していく必要がある。

武蔵村山市白図

日中時		
新ルートバス停留所	●	
既存ルートバス停留所	○	
廃止の可能性がある停留所	○	
不便地域	既存ルート	
	上北台ルート	●●●●
	玉川上水ルート	●●●●
	武蔵砂川ルート	●●●●
	西循環ルート	●●●●

東西横断ルート

上北台ルート

玉川上水ルート

ルート変更に伴うバス停の廃止により、交通不便地域が若干広がる可能性がある

ルート変更に伴うバス停の廃止により、交通不便地域が広がる可能性がある

広い交通不便地域は解消されない

